



# ひまわり



## 「短下肢装具」について知ろう！

装具を装着して上手に歩行されている方を目にします。よくみると、いろいろな種類の装具があるようです。今回、これらの装具のうち、脳卒中後遺症などで利用されることが多い「短下肢装具」について、当院の理学療法士、若旅正弘さんにお話しをおうかがいしました。



理学療法士：若旅正弘さん

### Q：下肢に装着する装具にはどのようなものがあるのでしょうか？

A：下肢に装着する装具には、膝上までおおう「長下肢装具」と足首の上までおおう「短下肢装具」があります。どちらの装具も立ったり、歩いたりといった下肢の機能をサポートする目的で使用します。

### Q：「短下肢装具」にはどのような種類があるのでしょうか？

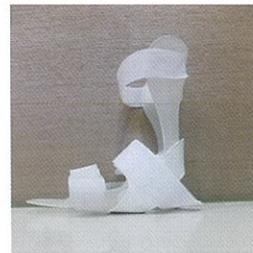
A：当院でよく使用されている短下肢装具の種類として①金属支柱付き短下肢装具、②プラスチック製短下肢装具、③オルトトップ型短下肢装具、④油圧制動式短下肢装具が挙げられます。



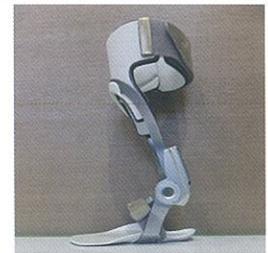
①金属支柱付き



②プラスチック製



③オルトトップ型



④油圧制動式の一例

### Q：それぞれの短下肢装具の特徴を教えてください。

A：上に挙げた短下肢装具の主な違いは、歩行の妨げになる足首の動きを止めて固定する力（矯正力）の違いです。

- ①金属支柱付き：最も矯正力が強い装具で、ふくらはぎの筋肉に強いつっぱりがある方にむいています。
- ②プラスチック製：上の金属支柱付きの次に矯正力が強い装具で、筋肉のつっぱりがある方や歩いているときに膝が曲がってしまう方（膝折れのある方）にむいています。
- ③オルトトップ型：矯正力が最も弱い短下肢装具ですが、歩くときに足先が引っかかってしまう方（下垂足など）にむいています。小型の装具で、一般の靴を履くことができます。
- ④油圧制動式：足首の動きを油圧で制御し、自然に近い歩行を可能にする装具です。

### Q：短下肢装具を使用しているときの注意点を教えてください。

A：装具を使用するときは、以下のようなことがないか注意してください。①装着中に痛みがある、②装具を外したときに、皮膚に赤みや擦れた跡がある、③歩いているときに膝が反り返る（反張膝）、④ベルトがゆるみ装具がしっかり固定できない、⑤今までと装着した感じが違う。このようなときは調整が必要な可能性があります。また、短下肢装具の耐用年数は1年半～3年程度で、定期的な作り替える必要があります。わからないことがあれば、主治医や理学療法士にご相談下さい。

### Q：最後にひとことお願いします

A：患者様ひとりひとりにあった最適な装具を提供して、快適に歩行できるように、わたしたち理学療法士がお手伝いさせていただきます。当院では、「ブレースクリニック」にて装具の作製や調整も行っていますので、お困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

（裏面に、短下肢装具を利用するときの制度についてまとめましたので、併せてご覧ください。）

## 短下肢装具と助成制度

短下肢装具は、作る目的によって、活用する助成制度がかわります。また、費用のやりとりも違うので、どちらで作成するのか、よく確認するとよいでしょう。

### ①治療上(リハビリをする過程で)必要な装具として使う場合

治療に必要な用具ということで医療保険(国民健康保険や健康保険など)で作ります。この場合、償還払いという形で医療保険分の費用の支給がされます。医師より、治療上装具が必要という意見書(診断書)を書いてもらいます。いったん装具を全額自己負担し作成し、装具作成業者より領収書を受け取ります。意見書と領収書を添付し、各健康保険の窓口申請すると、後日保険分の7割が支給されます。マルフク等が利用できる方は、残り3割分をマルフクへ申請します。

### ②リハビリをした後、残っている障害を補う装具として使う場合

身体障害者手帳を利用し補装具として申請します。最初に障害福祉課へ行き、申請の相談をすると申請書と意見書の用紙を受け取れます。意見書に医師が何の装具が必要かを記入します。装具作成業者に見積書を作成してもらいます。申請書と意見書と見積書がそろったら、障害福祉課で申請手続きをします。数日後、補装具の交付決定通知書が届きます。通知には、支給するかどうかと、補助額と自己負担額が記載されています。同じ通知は、見積書を作成した業者にも届き、そこから装具の作成を開始します。装具が出来上がったら、通知にある自己負担額のみを支払って装具を受け取ります。

## 夏祭り開催!

7月31日(金)、1階エントランスホールにて夏祭りが開催されました。多くの患者さんやご家族、病院職員、ボランティアスタッフが参加し、とても賑やかなお祭りになりました。

綿あめやかき氷、ポップコーン、飲み物など夏祭りでは定番の屋台が並び、参加して下さった方々に振る舞われました。輪投げ、ヨーヨー釣り、ボーリング等お子さんが楽しく遊べるコーナーもあり、夢中になっている姿はとても微笑ましかったです。

屋台



ヨーヨー釣り



ボーリング



また、ボランティアの方々によるソーラン踊りや医療大ダンスサークルによるダンスは患者さんから大好評でした。

ソーラン踊り



ソーラン踊り



ダンスサークル



皆様のご協力により夏祭りを開催することができました。ありがとうございました。

売上の17,960円は今後のボランティア活動費に充てさせていただきます。

来年も開催を予定しておりますので、ご参加お待ちしております。

広報誌ひまわり編集委員会